

2023年6月9日

仙台市泉区鶴が丘3丁目13の14

大瀧 邦彦

定年後の2004年10月の思い出 尾瀬沼一周と塔のへつりのウォーキング

自然豊かな福島県の尾瀬沼への訪問の機会は、秋の芝紅葉の美しさを見る為に訪れましたが、生憎の曇り空で 綺麗さは半減しました。

尾瀬沼横断ではなく 沼を一周するコースをウォークしましたが 一周する木道は整備されているものの 木道は前日の雨の為に濡れていて滑りやすく沼の縁に落下するもの、滑って転ぶものなどが発生しながら沼一周を歩いた思い出のウォーキングでした。

その後南会津にある塔のへつりの河食地形の奇形あるへつりの塔の散策をしました。



左の写真は「塔のへつり」です。

尾瀬沼（おぜぬま）は、群馬県利根郡片品村と福島県南会津郡檜枝岐村にまたがって位置する沼 尾瀬地域にある。面積は 1.81km²。

上毛かるたでは「せ」の札において、

「仙境尾瀬沼 花の原」と読まれる。只見川の一方の最上流に位置するため、標高は 1660 m と高く、日本では、これより高く尾瀬沼より大きい湖沼・池は無い。

塔のへつり（塔の峯、とうのへつり）は、福島県南会津郡下郷町にある景勝地。河食地形の奇形を呈する好例として、国の天然記念物に指定されている。

「へつり」とは会津方言で、川に迫った険しい断崖のことである。